



### ◎道路鋪裝講習會記要

道路鋪裝講習會は前號に豫告の通り八月十日より内務省

社會局大會議室に於て開會した。水野會長は例の如く道路

の價值効用より鋪裝の利益等に就て簡明に説き起し次で最

近支那視察中に見聞されたる道路事情等をも述べられ更に

我が國現下の實狀に照し技術員一般の研鑽攻研究を要すべし

もの多きを以て、今回は特に此方面の科目を選たる次第で

あるが、時恰かも炎暑の砌各員も健康に留意して聽講する

やうと慈父の愛兒に對する訓授的開會の挨拶があつて式は

終り、順次左記の通り講習は開始されたのである。

セメント混擬土

工學博士 宮本武之輔

セメント混擬土道設計	内務技師 藤井眞透
セメント混擬土道施工	内務技師 大石義郎
鋪裝用骨材	内務技師 高田昭
瀝青材料	内務技師 西川榮三
簡易瀝青道	東京市技師 山本亨
瀝青道	内務技師 中島時雄
其他の鋪裝道	内務技師 岩澤忠恭
路面維持修繕に就て	東京市技師 堀信一
科外	
歐米の道路	内務技師 藤井眞透
尙右の外實地見學として、八月十一日午後三時より東京	
市道路試驗所に山本同試驗所長の説明でアスフルトプラ	
ントを、同十三日午後三時より折坂東市府囑託技師の案内	
で八號國道のセメントコンクリート鋪道數里の間を、また	
同十五日には獨逸より我國に初めて淺野物産會社の手で輸	
入した鋪道用乳劑現場製造撒布機の實演を、最終日たる同	
十六日には最近セメント界に君臨するベロセメント見學の	

爲午前七時半東京驛發車、同十時半西多摩工場着車、技師

長の説明

を聽取後

二十人宛

十班に分

れて詳細

なる見學

をなし、

得るとこ

ろ頗る多

く歡談裡

に歸途に

就き午後

四時東京

驛歸着散

會した。

最初この計畫を議定する際には種々の異見續出し容易に纏

まらなかつたのである、其の理由とする所は財政緊縮の際

であり、

且つ官公

吏員等の

旅費を節

約した地

方もある

といふの

で百名の

聽講人員

に達せし

むるには

出張費中

に幾分の

補助を與

ふるが良

察視裝鋪トーリクンコ道國號八



を主張する幹事も兩三名あつて容易に決し兼ねたが採決の結果多數を以て開催するに決定し、旅費滞在費等の補助も見合す事となつたが、特に上記の意味で今回は聽講料を徵せざる事、諸種資料印刷物其他視察用自動車費及晝食料等一切を給與する事に定まつたのであるが、愈々締切日となるや豫定より百五十餘名も多く遂に二百五十八名の多きに達した、これは道路鋪装といふ事が全國的に如何に切實な問題となつて居るかを立證し得る一端であると思ふ。

斯の如く痛切な實際問題となつて居るので會期は僅一週

道路鋪裝講習員職氏名		同 廳 技 手		關 谷 哲 太 郎		高 雄 州 技 手		青 島 勝 三	
陸軍技術本部		全羅南道廳技手		太 田 澄		內務省土木出張所			
陸軍工兵中尉		荒 木 友 次		慶 尚 北 道 廉 技 師		山 下 博 之		堀 內 陸 郎	
陸軍軍工工兵		前 田 茂		慶 尚 南 道 技 手		速 水 隆 三		海 老 根 辰 之 介	
陸軍軍工工長		ト 部 芳 太 郎		釜 山 府 技 師		吉 村 善 臣		木 村 豊	
陸軍軍工工兵		交 通 局 技 師		臺灣總督府		(仙 蔦)			
上 等 工 長		村 西 藤 次 郎		同		同			
上 等 工 長		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
京畿道廳技師		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
京畿道廳技師		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			
朝鮮總督府		同		同		同			

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
務 務  
工 技  
手 手 託

細井喜久  
長島辰藏  
中間友義  
星山竹三  
大竹良記  
福田勝  
知久庄作  
青木榮  
岡政次  
富岡政次  
小林恵  
白井小太郎  
金子栄  
後藤善七  
中野民治  
吉尾角藏  
大野音治郎  
横山恒藏  
島内修三

中山卯三郎 長谷川佐次郎 入江信満 大坊政源  
高田哲三 菅野秀夫 板垣匡 堀佐々木近藤鉉之助 二宮金次郎 佐藤清見 大槻源八 武



同	南千住町	技手
同	中野町	技手
同	代々橋町	技手
同	濱谷町	技手
同	大崎町	技手
同	大久保町	技手
同	巣鴨町	技手補
同	西巢鴨町	技手
同	龜戸町	技手
同	三河島町	技手
神奈川縣廳	手	
同	川崎市役所	
同	飯田修司	
同	高橋章貢	
同	倉井麟平	
同	中澤喜之助	
同	志村關造	
同	瀧澤銀藏	
同	吉弘重彦	
同	鈴木三郎	
同	池上哲四郎	
同	吉松一夫	
同	竹内今朝藏	
同	北澤英一郎	
同	糀山德治	
同	青木寅之助	

福井市役所	手	渡邊武七
新潟縣廳	師	伊藤幸一
高田市役所	手	野口義
福井縣廳	藤井清彦	有馬芳彥
富山縣廳	石村武一	中川鐵之助
多田治郎助	逢澤省吾	安部五七郎
五十子恭三	丸山一郎	五十子恭三
手	藤井清彦	五十子恭三
手	伊藤幸一	伊藤幸一
手	野口義	野口義
同	同	同
同	同	同
同	同	同
技	講	技
福	新潟土專修學校	福
井	手	井
縣	師	縣
廳	藤井清彦	廳



佐賀縣廳	原田亮太郎	大庭三郎
長崎縣廳	木下孝幸	師
熊本縣廳	中村又一	技
手	坂井專一	同
大分縣廳	淵上卯一	技
師	出井泰三郎	同
手	清崎金壽	技
市橋一男	岡山定德	同
宮崎縣廳	多田徳男	技
手	中村武夫	同
鹿兒島縣廳	宮重才二	技